

二〇〇三年の新春に、平和の願いを！
愛する日本よ、どこへ行くのか？

―なぜ、米国のイラク攻撃に手を貸そうとするのか―

半世紀前の敗戦後のことでした
日本国民は喜びの声をあげ
日本国憲法を「平和憲法」と呼びました
武器を持たず 戦争をしないやさしい日本を作るために！

それなのに
真の世界平和を目指すやさしい日本に
戦争をする軍隊を作ったのは誰ですか？
最高法規の憲法で 軍隊も戦争も捨てたのに
米国のイラク攻撃に手を貸そうと
イージス艦をインド洋に派遣したのは誰ですか？

日本国憲法は「陸・海・空軍を持たない」と誓いました
日本政府はこの誓いを破って「陸・海・空軍」を持ってしまったのです
これで果たして日本は法治国家と言えますか？
戦争の悲惨さを知らない防衛庁長官が
知ったかぶりして「国民を守るために」とウソを言うのです

半世紀前の戦争で 浜松がどんな被害を受けたかを
知らない人は どうか知ってください
米軍の大空襲や艦砲射撃で
市民の死者三、三四九名 重軽傷者約三千名 市街は焼け野原！
今や罪なきイラクの一般国民が 何百万と死にさらされようとしているのです
あなたは黙って見過ごされますか？

高く美しい富士山のそびえる愛する日本よ！
なぜ富士にふさわしい気高い平和日本を見捨てるのですか？
世界の人々が本心から願っているのは
武器も戦争もない真の平和です
戦争で一人も死ぬ人がない世界平和です
アメリカはイラク攻撃をやめてください！
日本はイラク攻撃に手を貸してはなりません！
憲法第九条で高らかに平和を誓ったやさしい日本に立ち帰ることが
日本のただ一つの正しく生きる道です

二〇〇三年一月一二日（日）第四三一回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市紺屋町三〇一―十五